

市民科学講座

宇宙の歴史をひもとく地下素粒子原子核研究

～ニュートリノと宇宙暗黒物質の謎～

入場無料

日時: 2016年3月13日(日)午後3時～5時

会場: 徳島大学地域連携プラザ二階 常三島けやきホール
(徳島市南常三島町1-1 徳島大学常三島キャンパス)

講演1 極微のニュートリノが作る極大の宇宙

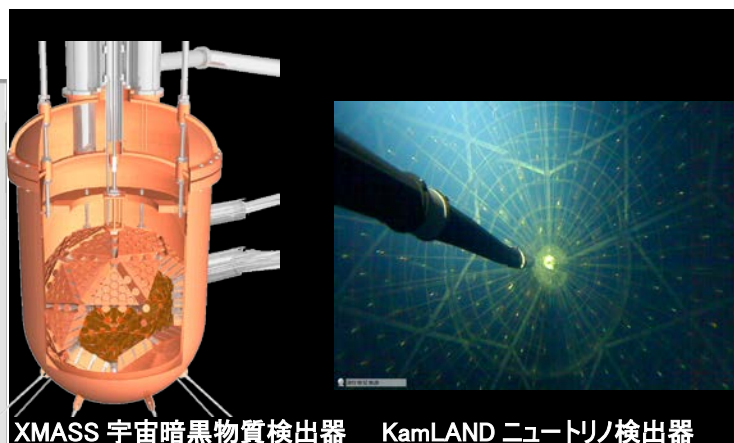
講師: 井上邦雄(東北大学ニュートリノ科学研究センター長)

概要: 2015年のノーベル物理学賞は、ニュートリノに質量があることを発見した梶田先生とカナダの研究者に贈られました。とてもとても小さくて天体すら通り抜けてしまう極微のニュートリノの質量にどういう意味があるのでしょうか? ニュートリノは宇宙で最も多い物質粒子です。そして、ニュートリノの特別な性質がとても大きい宇宙に存在するすべての物質を生み出したとも考えられています。ニュートリノの質量の発見が指し示す今後の研究展開も含めて紹介します。

講演2 宇宙暗黒物質を探せ!

講師: 伏見賢一(徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部教授)

概要: 宇宙暗黒物質は宇宙の構造を決定する重要な役割を果たしていると考えられています。しかしながら宇宙暗黒物質が何でできているかはいまだに明らかになっていません。多数の候補の中から最も有力視されている宇宙暗黒物質の性質と宇宙暗黒物質を見つける各グループの取り組みを紹介します。



- 問い合わせ先
徳島大学総合科学部 伏見 088-656-7238
- 駐車場には限りがありますのでご来場は公共交通機関をご利用ください。
- 主催: 新学術領域「宇宙の歴史をひもとく地下素粒子原子核研究」ID 班
- 後援: 徳島新聞社、四国放送
- ホームページ
<http://www.lowbg.org/ugnd/>